

小学校におけるキャリア発達課題

小学校低学年

- 小学校**生活に適応**する
- **身の回り**の事象への**関心**を高める
- 自分の**好きなこと**を見つけてのびのびと活動する

同・中学年

- 友だちと**協力**して活動する中で**かかわり**を深める。
- 自分の**持ち味**を発揮し、**役割**を自覚する。

同・高学年

- 自分の**役割や責任**を果たし、**役立つ喜び**を体得する。
- 集団の中で**自己を生かす**。

出典：『小学校キャリア教育の手引き』（文科省, 2010）

9

中学校におけるキャリア発達の課題

- 1年生
 - 自・自分の**良さや個性**がわかる。
 - 社・自己と他者の**違い**に気づき、**尊重**しようとする。
 - 社・集団の一員としての**役割**を理解し、果たそうとする。
 - 自・**将来**に対する漠然とした**夢やあこがれ**を抱く。
- 2年生
 - 社・自分の**言動**が他者に及ぼす**影響**について理解する。
 - 社・**社会の一員**としての自覚が芽生え、**社会・大人を客観的に**捉える。
 - 自・将来への**夢**を達成する上での**現実的な課題**に直面し、模索する。
- 3年生
 - 社・自己と他者の個性を尊重し、**人間関係を円滑に**進める。
 - 社・社会の一員としての参加には**義務と責任**が伴うことを理解する。
 - 自・**将来設計**を達成するための**困難**を理解し、それを**克服**する努力に向かう。

出典：『中学校キャリア教育の手引き』（文科省, 2011）

10

高等学校におけるキャリア発達の課題①

入学から在学期間半ば頃まで

- ① 社 新しい環境に適応するとともに他者との望ましい人間関係を構築する。
- ② 社 新たな環境の中で自らの役割を自覚し、積極的に役割を果たす。
- ③ 自 学習活動を通して自らの勤労観、職業観について価値観の形成を図る。
- ④ 社 様々な情報を収集し、それに基づいて自分の将来について暫定的に決定する。
- ⑤ 社 進路希望を実現するための諸条件や課題を理解し、検討する。
- ⑥ 自 将来設計を立案し、今取り組むべき学習や活動を理解し実行に移す。

出典：『高等学校キャリア教育の手引き』（文科省、2011）

11

高等学校におけるキャリア発達の課題②

在学期間半ば頃から卒業を間近にする頃まで

- ① 社 他者の価値観や個性を理解し、自分との差異を認めつつ受容する。
- ② 社 卒業後の進路について多面的・多角的に情報を集め、検討する。
- ③ 自 自分の能力・適性を的確に判断し、自らの将来設計に基づいて、高校卒業後の進路について決定する。
- ④ 自 進路実現のために今取り組むべき課題は何かを考え、実行に移す。
- ⑤ 社 理想と現実との葛藤や経験等を通し、様々な困難を克服するスキルを身に付ける。

出典：『高等学校キャリア教育の手引き』（文科省、2011）

12